

## ■「効果の見える治水事業」

### 香川県 別当川総合開発事業(内海ダム再開発)

香川県土木部河川砂防課長 氣多 拓夫



#### ○内海ダムの概要

別当川は、小豆島の東南東部香川県小豆郡小豆島町に位置し、その源を名勝寒霞溪（神懸山：標高671m）に発し、山間部を南流し、途中小豆島町神懸通、草壁本町を貫流して、小豆島町草壁本町地先で内海湾に注ぐ流域面積8.8km<sup>2</sup>、流路延長4.0kmの二級河川です。

本河川は、香川県内でも有数の急勾配河川であり、その下流域では、古くから洪水による被害がたびたび発生しています。昭和34年にコンクリートと土石の混成堤である旧内海ダムが完成しましたが、昭和36年の台風では、ダム上部からの越流により、ダム堤体下流の土石部分が流出しました。また昭和49年と昭和51年の降雨では、大雨により川が氾濫し、護岸の被災や住宅の浸水など甚大な被害が発生しています。

このようなことから、治水、利水の抜本的な対策として、別当川総合開発事業(内海ダム再開発)が計画され、地元や関係者の協力のもと、平成25年4月に無事竣功することができました。

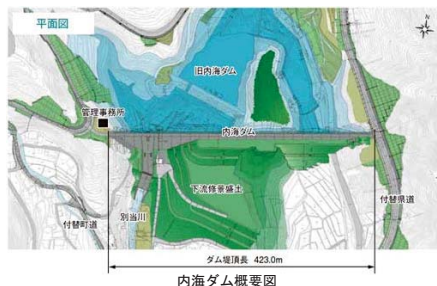


- ①目的：洪水調節、流水の正常な機能の維持  
新規水道用水の開発
- ②経過：平成21年12月着工  
平成25年 4月竣工
- ③位置：小豆郡 小豆島町 神懸通
- ④河川名：二級河川 別当川水系 別当川
- ⑤諸元：重力式コンクリートダム  
堤 高： 43.0m  
堤 体 積： 165,000m<sup>3</sup>  
総貯水容量： 1,060,000m<sup>3</sup>

⑥洪水調節：自然調節方式により、ダム地点におけるピーク流入量130m<sup>3</sup>/sのうち、50m<sup>3</sup>/sを調節し、80m<sup>3</sup>/sを放流

#### ○台風19号における洪水調節効果

平成26年10月の台風19号による出水では、ダム地点での最大時間雨量が33mm、最大流入量36.4m<sup>3</sup>/s、降り始めからの累計雨量は207mmとなりましたが、最大流入時に10.6m<sup>3</sup>/sを調節し、下流寒霞溪橋における最高水位を約54cm低減させたと推定されます。



#### ○現在の内海ダム状況

内海ダムでは、試験湛水を平成26年11月から開始し、平成27年3月18日に洪水時最高水位（標高79.0m）に到達しました。

今後は、ダム及び貯水池の安全性を調査・確認し、平常時最高貯水位（標高70.0m）まで水位を低下させながらダム及び貯水池の観測を継続して、試験湛水を終了します。

## 『水源確保と災害に強い町づくり』

小豆島町長 塩田 幸雄



小豆島町は、瀬戸内海国立公園に浮かぶ島で、面積 153 km<sup>2</sup>、周囲 126km 瀬戸内海では淡路島に次ぐ大きな島で海と山に囲まれた風光明媚な島です。小豆島町は、小豆島の中央から東に位置し、壺井栄の小説「二十四の瞳」の舞台として、また、日本におけるオリーブ栽培発祥の地として、全国的に知られています。

小豆島町とオリーブの関わりは、明治 41 年、当時の農商務省が三重、香川(小豆島)、鹿児島 の 3 県を指定して、アメリカから輸入した苗木で試験栽培を行い、小豆島町に植えたオリーブだけが順調に成育し、大正初めには搾油ができるまでになりました。オリーブが健康によいことは医学的にもよく知られており、小豆島町ではオリーブによる健康長寿の島づくりに取り組んでいます。



新内海ダム(下流から)

また、「二十四の瞳」の映画撮影時のセットを保存した「二十四の瞳映画村」があり、多くの観光客で賑わっています。その他、日本三大渓谷美に数えられる寒霞溪、18 世紀頃に始まり現在も伝承されている農村歌舞伎舞台など、数多くの観光スポットを有しています。

小豆島の気候は温暖少雨の瀬戸内海式気候であり、年間降水量は1200mm 程度で、従来からたびたび水不足に悩まされている一方で、多くの河川は、山間部が急勾配で平野部に出て急に勾配が緩くなると

いう地形的特長を有しているため、昭和 49 年災、51 年災に代表される台風や集中豪雨による大災害にも見舞われています。

この内海ダム再開発事業は、行政に課せられた「住民の皆さんの生命と財産を守る」という最大の使命をしっかりと果たしていくために、昭和五十九年度の予備調査開始から数えますと実に三十年近くの年月をかけて進められてきました。また、平成 15 年、平成 21 年の 2 度にわたり事業促進町民総決起大会が行われるなど町民一体となって推進してまいりました。

現在、ダム周辺整備工事も終盤を迎え、新内海ダムの全景を眺めてみますと別当川沿いで生活する住民の方々にとって非常に心強く、安心して暮らしていけることと喜んでいます。

今年度は冬場の降雨量が多く、まもなく試験湛水の完了が見込まれています。試験湛水が無事完了し、新内海ダムが全面供用されることにより、安定した水道を供給することが小豆島を元気にしていくことに繋がっていくことと期待しています。



新内海ダム周辺整備



新内海ダム周辺環境整備



新内海ダム試験湛水中